科目名	キャリアデザイン２							年度	2025
英語科目名	Career Studies 2							学期	前期
学科・学年	電子・電気科 電気工学コース　2年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	小林　和幸	教員の実務経験		無	実務経験の職種				

【科目の目的】

自分の「キャリアデザイン」を自分自身の言葉で語り、構築できるようになることを目的とする。

【科目の概要】

社会人として必要な知識や自己表現力などを学ぶ。

【到達目標】

電気に携わる様々な職業・技術を理解し、自身の将来像・キャリアを考え、進路に対する意識づけが出来る事を目標とする。

【授業の注意点】

この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業時間数の４分の３以上出席しない者は不合格とする。尚、オンライン授業であっても同じ条件となる。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A	積極的に自己分析を行い、将来なりたい自分を具体的に想像できる	積極的に自己分析を行い、将来なりたい自分を想像できる	自己分析を行い、将来なりたい自分を想像できる	自己分析はできるが、将来なりたい自分を想像できない	自己分析を行い、将来なりたい自分を想像できない
到達目標 B	しっかりと就職活動におけるマナーを細かい部分まで理解している	しっかりと就職活動におけるマナーを理解している	就職活動におけるマナーを理解している	就職活動におけるマナーを一部しか理解していない	就職活動におけるマナーを全く理解していない
到達目標 C	添削する必要がない、履歴書・エントリーシートを作成できる	ほぼ添削する必要がない、履歴書・エントリーシートを作成できる	履歴書やエントリーシートの作成ができる	履歴書やエントリーシートの一部の内容しか作成できない	履歴書やエントリーシートの作成が全くできない
到達目標 D	内定の目標に向かい、就職試験対策について自ら積極的に行動できる	内定の目標に向かい、就職試験対策について自ら行動できる	就職試験対策について行動できる	就職試験対策について、ほとんど自ら行動しない	就職試験対策について自ら行動できない
到達目標 E	社会人としての将来について考え、具体的に目標を掲げることができる	社会人としての将来について考え、目標を掲げることができる	仕事をする上で、自分自身の将来について考え、イメージできる	自分自身の将来についてイメージがあまりできない	自分自身の将来が考えられない

【教科書】

キャリアサポートブック

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

試験：70％試験を総合的に評価する。小テスト：15％授業内容の理解度を確認するために実施する。平常点：15％積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	キャリアデザイン２	年度	2025
英語表記	Career Studies 2	学期	前期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	自己分析	自己分析をしっかり行い、将来なりたい自分を想像する	1	業界	自分の携わりたい業界を決めることができる	3	
			2	自身の強み	自分自身の強みを理解している		
2	企業研究	電子・電気業界の企業を把握し、働きがいのある企業を見極める	1	職種	職種を決めることができる	3	
			2	様々な条件	労働条件や福利厚生など自身で判断できる		
			3	企業の選定	企業を比較研究し、自身で判断できる		
3	方法とマナー	企業に連絡する上で注意すべきことを理解する	1	電話のマナー	電話のマナーを理解している	3	
			2	メールのマナー	メールのマナーを理解している		
			3	会社訪問・見学	会社訪問の際の注意点を理解している		
4	Webエントリー	Webエントリーの注意点を理解する	1	企業情報サイト	情報サイトの正しい活用方法を理解している	3	
			2	エントリー	企業にエントリーを行い、やりとりができる		
5	エントリーシート・履歴書作成	説得力のある応募書類を作成する	1	自己PR	「性格＋行動＋思考」で表現している	3	
			2	頑張ったこと	学生時代に取り組んだことをまとめられる		
			3	志望動機	明確に自分の言葉で表現できている		
6	筆記試験対策	筆記試験に向けて対策を行う	1	一般常識	社会人としての知識を習得している	3	
			2	適性試験	試験対策を行い、問題形式に慣れておく		
			3	作文試験	相手に伝わりやすい文章を書くことができる		
7	面接試験対策	面接試験の際に注意すべきことを把握する	1	面接のマナー	面接時のマナーを正しく実践できる	3	
			2	自身の強み	自身の強みを自身を持って相手に伝えられる		
			3	柔軟性	どのような質問にも対応できる		
8	内定後の過ごし方	仕事をする上で、自分自身の将来について考え、イメージする	1	将来像	十数年後のなりたい自分を想像できる	3	
			2	目標	将来の目標を決めることができる		
			3	今からできること	目標に対して今行動すべきことが理解できる		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等